



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場会社名 株式会社ソディックプラスチック 上場取引所 JQ
 コード番号 6401 URL http://www.plustech.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤川 操
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)河本 朋英 (TEL)045(948)1405
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	11,112	77.6	467	—	317	—	357	—
22年3月期第3四半期	6,256	△41.9	△289	—	△399	—	△332	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	11 26	—
22年3月期第3四半期	△15,055 86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	16,676	4,611	27.7	145 21
22年3月期	14,393	4,289	29.8	135,069 10

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,611百万円 22年3月期 4,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
23年3月期	—	0 00	—		
23年3月期(予想)				5 00	5 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式1,000株の割合で株式分割を行なっております。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	35.7	390	—	270	—	250	—	7,873 02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	31,758,000株	22年3月期	31,754株
23年3月期3Q	—株	22年3月期	—株
23年3月期3Q	31,757,476株	22年3月期3Q	22,089株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
【第3四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	13
(1) 役員の異動	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコポイント等の景気対策効果等により、景気は緩やかな回復基調をたどりましたが、雇用情勢の低迷や急激な円高の進行と株式市況の低迷により、先行き不透明感は払拭されないまま推移しました。

このような状況のもと、当社グループの射出成形機関連事業におきましては、国内では政府のエコカー補助金終了及び円高の影響から自動車関連業界の受注が低迷しましたが、スマートフォン関連、電子精密部品業界の受注及び売上げは比較的、堅調に推移いたしました。海外向けにおきましては、アジア地区(韓国、台湾)でのLED部品業界等の設備投資の一服感による落ち込みによって、受注は減少いたしました。モーション関連事業におきましては、中国生産のラインナップも拡大し、モータ関連の売上は堅調に推移いたしました。特機関連は、液晶製造関連業界等の中国向け設備が増加してきたため、売上げは回復基調にありましたが、競合先との販売競争激化により原価率は悪化いたしました。食品機械関連事業におきましては、大手食品メーカーからの製麺プラントの受注が順調に推移いたしました。競合他社との販売競争は続いております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は、11,112百万円、営業利益は、467百万円、経常利益は、317百万円、四半期純利益は357百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、16,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,283百万円増加しました。

その主な内容は受取手形及び売掛金の増加1,105百万円、たな卸資産の増加1,418百万円によるものです。

また、負債の部は、12,065百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,961百万円増加しております。

その主な内容は支払手形及び買掛金の増加1,960百万円によるものです。

純資産合計は、4,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ321百万円増加となりました。

その主な内容は、利益剰余金の増加357百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました「平成22年3月期決算短信」をご参照ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

3 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

4 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1 資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は、それぞれ657千円、税金等調整前四半期純利益は、8,108千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は14,438千円であります。

2 表示方法の変更

(1) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(2) 「為替差損」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結会計期間においては、営業外収益の「その他」に「為替差益」が3,642千円含まれております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,566,329	2,362,498
受取手形及び売掛金	4,914,446	3,809,149
製品	731,391	343,102
仕掛品	1,266,707	1,042,185
原材料	1,794,184	988,067
その他	371,190	359,220
貸倒引当金	△9,525	△6,743
流動資産合計	11,634,725	8,897,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,666,982	1,745,287
機械装置及び運搬具(純額)	626,955	573,426
土地	1,433,672	1,433,672
その他(純額)	426,731	449,528
有形固定資産合計	4,154,341	4,201,915
無形固定資産		
のれん	714,288	664,188
その他	56,763	66,101
無形固定資産合計	771,051	730,290
投資その他の資産		
その他	156,769	611,880
貸倒引当金	△40,388	△48,537
投資その他の資産合計	116,380	563,342
固定資産合計	5,041,773	5,495,548
資産合計	16,676,498	14,393,028

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,275,838	3,315,207
短期借入金	2,623,047	2,641,880
未払法人税等	42,205	28,152
賞与引当金	52,728	96,742
製品保証引当金	111,000	82,100
その他	738,857	649,600
流動負債合計	8,843,676	6,813,682
固定負債		
社債	65,000	72,000
長期借入金	2,392,347	2,406,615
役員退職慰労引当金	8,910	—
退職給付引当金	284,637	256,533
債務保証損失引当金	25,750	48,380
資産除去債務	14,614	—
その他	430,081	506,271
固定負債合計	3,221,341	3,289,800
負債合計	12,065,018	10,103,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,873,888	2,873,608
資本剰余金	1,298,868	1,298,587
利益剰余金	485,282	127,690
株主資本合計	4,658,039	4,299,886
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△877	△696
為替換算調整勘定	△45,681	△10,206
評価・換算差額等合計	△46,558	△10,902
新株予約権	—	560
純資産合計	4,611,480	4,289,544
負債純資産合計	16,676,498	14,393,028

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,256,462	11,112,289
売上原価	5,406,854	8,960,684
売上総利益	849,607	2,151,605
販売費及び一般管理費	1,139,027	1,684,103
営業利益又は営業損失(△)	△289,419	467,501
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,715	1,560
デリバティブ評価益	—	19,260
固定資産賃貸料	13,809	10,777
補助金収入	46,394	—
その他	18,918	25,808
営業外収益合計	84,838	57,406
営業外費用		
支払利息	72,345	78,193
持分法による投資損失	839	—
株式交付費	54,577	—
為替差損	—	111,649
固定資産賃貸費用	13,275	11,521
シンジケートローン手数料	39,500	—
その他	14,843	5,556
営業外費用合計	195,382	206,919
経常利益又は経常損失(△)	△399,963	317,988
特別利益		
固定資産売却益	5,447	8,125
投資有価証券売却益	—	19,691
関係会社株式売却益	74,188	—
債務保証損失引当金戻入額	20,778	22,629
貸倒引当金戻入額	5,443	4,808
特別利益合計	105,859	55,255
特別損失		
固定資産売却損	4,047	—
固定資産除却損	1,636	295
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,451
本社移転費用	23,138	2,722
特別損失合計	28,823	10,469
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△322,927	362,774
法人税、住民税及び事業税	14,938	20,481
過年度法人税等	—	44,000
法人税等調整額	△5,282	△55,376
法人税等合計	9,655	9,105
少数株主損益調整前四半期純利益	—	353,669
少数株主損失(△)	—	△3,922
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△332,583	357,591

(株) ソディックプラステック (6401) 平成23年3月期第3四半期決算短信

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	2,804,121	3,554,695
売上原価	2,524,681	2,886,689
売上総利益	279,440	668,005
販売費及び一般管理費	486,980	592,021
営業利益又は営業損失(△)	△207,540	75,984
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,330	396
デリバティブ評価益	—	4,006
固定資産賃貸料	3,936	3,592
補助金収入	14,771	—
その他	6,245	4,009
営業外収益合計	30,284	12,005
営業外費用		
支払利息	22,149	27,268
為替差損	—	27,248
固定資産賃貸費用	4,415	3,840
シンジケートローン手数料	39,500	—
その他	2,608	2,125
営業外費用合計	68,673	60,482
経常利益又は経常損失(△)	△245,929	27,507
特別利益		
固定資産売却益	5,420	—
債務保証損失引当金戻入額	874	6,436
貸倒引当金戻入額	746	2,056
特別利益合計	7,041	8,492
特別損失		
固定資産売却損	1,770	—
固定資産除却損	1,629	295
本社移転費用	—	314
特別損失合計	3,399	609
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△242,287	35,389
法人税、住民税及び事業税	6,507	6,137
法人税等調整額	330	1,246
法人税等合計	6,837	7,384
少数株主損益調整前四半期純利益	—	28,005
少数株主損失(△)	—	△769
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△249,125	28,774

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△322,927	362,774
減価償却費	296,816	302,406
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,451
のれん償却額	31,467	86,980
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,493	△5,365
受取利息及び受取配当金	△5,715	△1,560
支払利息	72,345	78,193
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,399	△8,125
有形固定資産除却損	6,212	1,387
関係会社株式売却損益(△は益)	△74,188	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△19,691
売上債権の増減額(△は増加)	△379,621	△1,106,826
たな卸資産の増減額(△は増加)	495,938	△1,337,090
仕入債務の増減額(△は減少)	501,360	1,951,995
持分法による投資損益(△は益)	839	—
前受金の増減額(△は減少)	△27,755	△118,690
その他	△80,184	236,104
小計	504,693	429,942
利息及び配当金の受取額	5,728	1,567
利息の支払額	△71,574	△77,676
法人税等の還付額	79,646	—
法人税等の支払額	△16,911	△51,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	501,581	302,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△220,000	△10,267
定期預金の払戻による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△79,373	△127,931
有形固定資産の売却による収入	29,367	39,143
無形固定資産の取得による支出	△305	△2,042
投資有価証券の取得による支出	△2,138	△1,957
投資有価証券の売却による収入	—	23,612
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△1,808	—
事業譲受による支出	△1,701,502	—
その他	△258,674	1,147
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,034,435	△78,297

(株)ソディックプラステック(6401)平成23年3月期第3四半期決算短信

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14,065	—
短期借入金の返済による支出	△289,081	—
長期借入れによる収入	975,016	900,000
長期借入金の返済による支出	△1,144,570	△933,101
社債の償還による支出	△7,000	△7,000
株式の発行による収入	1,225,722	0
リース債務の返済による支出	△92,955	△96,330
長期未払金の返済による支出	△60,248	△57,161
配当金の支払額	△1,136	△27
シンジケートローン手数料の支払額	△39,500	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	580,311	△193,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	320	△14,204
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△952,222	16,664
現金及び現金同等物の期首残高	1,981,973	2,362,498
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	176,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,029,751	2,556,061

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	射出成形機 関連事業 (千円)	特機関連 事業 (千円)	食品機械 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,819,373	303,748	680,998	2,804,121	—	2,804,121
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,819,373	303,748	680,998	2,804,121	—	2,804,121
営業利益又は営業損失(△)	108,952	△21,642	△184,016	△96,706	(110,834)	△207,540

- (注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。
 2. 当第3四半期連結会計期間において、(株)ソディック新横より食品機械関連事業を譲受けしたことに伴い、新たに「食品機械関連事業」が加わっております。
 3. 各区分の主な製品
 (1) 射出成形機関連事業 … 射出成形機等
 (2) 特機関連事業 … 精密ステージ・リニアモータ等
 (3) 食品機械関連事業 … 食品機械等
 4. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能費用(110,834千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等に係る費用であります。
 5. 追加情報
 (リース取引に関する会計基準の適用)
 前連結会計年度より「リース取引に関する会計基準」を適用しております。

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	射出成形機 関連事業 (千円)	特機関連 事業 (千円)	食品機械 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,881,869	693,594	680,998	6,256,462	—	6,256,462
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,881,869	693,594	680,998	6,256,462	—	6,256,462
営業利益又は営業損失(△)	243,334	△10,058	△184,016	49,259	(338,679)	△289,419

- (注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。
 2. 当第3四半期連結会計期間において、(株)ソディック新横より食品機械関連事業を譲受けしたことに伴い、新たに「食品機械関連事業」が加わっております。
 3. 各区分の主な製品
 (1) 射出成形機関連事業 … 射出成形機等
 (2) 特機関連事業 … 精密ステージ・リニアモータ等
 (3) 食品機械関連事業 … 食品機械等
 4. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能費用(338,679千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等に係る費用であります。
 5. 追加情報
 (リース取引に関する会計基準の適用)
 前連結会計年度より「リース取引に関する会計基準」を適用しております。
 この変更に伴い従来の方による場合に比べ、射出成形機関連事業の営業利益は11,565千円増加、特機関連事業の営業損失は3千円減少、消去又は全社の営業損失は223千円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	北・南米地域	アジア地域	計
I 海外売上高(千円)	55,270	1,033,540	1,088,811
II 連結売上高(千円)	—	—	2,804,121
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	2.0	36.8	38.8

- (注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- (1) 北・南米地域… アメリカ、メキシコ
- (2) アジア地域 … 中国、台湾、香港、韓国、タイ、シンガポール
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	北・南米地域	アジア地域	計
I 海外売上高(千円)	192,860	2,811,913	3,004,773
II 連結売上高(千円)	—	—	6,256,462
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	3.1	44.9	48.0

- (注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- (1) 北・南米地域… アメリカ、メキシコ
- (2) アジア地域 … 中国、台湾、香港、韓国、タイ、シンガポール
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「射出成形機関連事業」、「モーション関連事業」及び「食品機械関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

「射出成形機関連事業」は、射出成形機等の製造販売をしております。「モーション関連事業」は、リニアモータ・精密ステージ等の製造販売をしております。「食品機械関連事業」は、食品機械等の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	射出成形機 関連事業	モーション 関連事業	食品機械関 連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,642,845	1,389,666	2,079,777	11,112,289	—	11,112,289
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,642,845	1,389,666	2,079,777	11,112,289	—	11,112,289
セグメント利益又は損失(△)	841,548	△77,257	86,181	850,472	△382,971	467,501

(注)1 セグメント利益の調整額382,971千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用382,971千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	射出成形機 関連事業	モーション 関連事業	食品機械関 連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,493,311	427,744	633,638	3,554,695	—	3,554,695
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,493,311	427,744	633,638	3,554,695	—	3,554,695
セグメント利益又は損失(△)	258,865	△11,867	△42,796	204,201	△128,217	75,984

(注) 1 セグメント利益の調整額128,217千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用128,217千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

1. 退任監査役(平成22年12月31日付)

監査役 廣崎 厚生